

別表 1

小児慢性特定疾病重症患者認定基準

- ① すべての疾病に関して、次に掲げる症状の状態のうち、1つ以上がおおむね6か月以上継続する（小児慢性特定疾病に起因するものに限る）と認められる場合

| 対象部位 | 症状の状態 |
|-------|---|
| 眼 | 眼の機能に著しい障害を有するもの（両眼の視力の和が0.04以下のもの） |
| 聴器 | 聴覚機能に著しい障害を有するもの（両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの） |
| 上肢 | 両上肢の機能に著しい障害を有するもの（両上肢の用を全く廃したものの） |
| | 両上肢の全ての指の機能に著しい障害を有するもの（両上肢の全ての指を基部から欠いているもの、両上肢の全ての指の機能を全く廃したものの） |
| | 一上肢の機能に著しい障害を有するもの（一上肢を上腕の2分の1以上で欠くもの、一上肢の用を全く廃したものの） |
| 下肢 | 両下肢の機能に著しい障害を有するもの（両下肢の用を全く廃したものの） |
| | 両下肢を足関節以上で欠くもの（両下肢を足関節以上で欠くもの） |
| 体幹・脊柱 | 1歳以上の児童において、体幹の機能に座っていることができない程度または立ち上がることができない程度の障害を有するもの（1歳以上の児童において、腰掛け、正座、あぐら、横すわりのいずれもができないものまたは、臥位または座位から自力のみでは立ち上がれず、他人、柱、杖、その他の器物の介護または補助によりはじめて立ち上がることができる程度の障害を有するもの） |
| 肢体の機能 | 身体の機能の障害または長期にわたる安静を必要とする病状が、上記（眼および聴器を除く）と同程度以上と認められる状態であって、日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの（一上肢および一下肢の用を全く廃したものの、四肢の機能に相当程度の障害を残すもの） |

② ①に該当しない場合であって、次に掲げる治療状況等の状態にあると認められる場合

| 疾患群 | 治療状況等の状態 |
|--------------------|---|
| 悪性新生物 | 転移または再発があり、濃厚な治療を行っているもの |
| 慢性腎疾患 | 血液透析または腹膜透析（CAPD（持続携帯腹膜透析）を含む。）を行っているもの |
| 慢性呼吸器疾患 | 気管切開管理または挿管を行っているもの |
| 慢性心疾患 | 人工呼吸管理または酸素療法を行っているもの |
| 先天代謝異常 | 発達指数もしくは知能指数20以下であるもの、または1歳以上の児童において、寝たきりのもの |
| 神経・筋疾患 | 発達指数もしくは知能指数は20以下であるもの、または1歳以上の児童において、寝たきりのもの |
| 慢性消化器疾患 | 気管切開管理もしくは挿管を行っているもの、三月以上常時中心静脈栄養を必要としているもの又は肝不全状態にあるもの |
| 染色体または遺伝子に変化を伴う症候群 | この表の他の項の治療状況等の状態に該当するもの |
| 皮膚疾患 | 発達指数もしくは知能指数20以下であるもの、または1歳以上の児童において、寝たきりのもの |
| 骨系統疾患 | 気管切開管理若しくは挿管を行っているもの、または1歳以上の児童において寝たきりのもの |
| 脈管系疾患 | 気管切開管理若しくは挿管を行っているもの、または1歳以上の児童において寝たきりのもの |